

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行

見る / 学ぶ / 訪ねる /
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス]
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2018.1
第33号



第3回 国分寺市・坂戸市 合同企画展

～瓦でつながる古代の国分寺と坂戸～

勝呂廃寺の瓦(瓦)と武蔵国分寺

「瓦」の字：武蔵国分寺跡出土文字瓦より

ごあいさつ

今から 1500 年前の 6 世紀に、朝鮮半島から日本へ仏教が伝えられます。その後、奈良時代になると日本の各地で寺院が建てられるようになります。

かつて、埼玉県坂戸市と国分寺市は、南北に縦走する「東山道武蔵路」と呼ばれる官道で結ばれていました。また、官道に近接して古代寺院が建てられ、同じ文様の瓦が使用されるなど、両市は関わりの深い地域であったと考えられます。

本展は、坂戸市と国分寺市で調査された、古代寺院をテーマとし、連携事業として開催いたします。様々な出土資料をとおして、両市の歴史と文化の一端に触れていただければ幸いです。

本展開催にあたり、ご協力いただきました関係者各位に深く感謝申し上げます。

国分寺市教育委員会 坂戸市教育委員会

国分寺市会場

- 会 場 武蔵国分寺跡資料館
(東京都国分寺市西元町 1-13-10)
- 期 間 平成 29 年 1 月 13 日(土)～3 月 11 日(日)
- 開館時間 午前 9 時～午後 5 時 (入館は 4 時 45 分まで)
- 入 場 料 おたかの道湧水園への入園料
一般…100 円 (中学生以下無料)
- お問い合わせ先 武蔵国分寺跡資料館
TEL 042-323-4103

※坂戸市会場は終了しました

■ 展示の主な構成 ■

- ◇ 地域に根付く仏教「勝呂廃寺」
- ◇ 鎮護国家の願い「武蔵国分寺」
- ◇ 古代寺院と瓦
- ◇ 瓦でつながる古代の国分寺と坂戸

展示会場では、本企画展のリーフレット(全 12 頁)を無料配布します。
(※数に限りがあります)



国分寺市
武蔵国分寺跡 金堂の礎石と版築
(国分寺市教育委員会)



坂戸市
勝呂廃寺 礎石建物
(坂戸市教育委員会提供)



勝呂廃寺
創建期の鍔瓦
(坂戸市教育委員会蔵)



太田静六コレクション

武蔵国分寺跡
「橋」(橋樹郡) 文字瓦
(国分寺市教育委員会蔵)

第 3 回の展示では、これまでの発掘調査で明らかとなった勝呂廃寺と武蔵国分寺跡の概要や、出土した瓦からみる両寺院の関係性などを紹介します。(増井 有真)

国指定史跡武蔵国分寺跡 附東山道武蔵路跡の追加指定

この度、文化審議会から文部科学大臣に答申された国指定史跡武蔵国分寺跡^{とうざん どうむせし みち} 附東山道武蔵路跡の追加指定について、平成 29 年 10 月 13 日に官報告示^{かんほうごうじ}されました。これにより、西元町二・三丁目^{さいげんちょう にさんちよう}に所在する東山道武蔵路（図①）、武蔵国分寺跡政所院・大衆院^{まんどころいん たいしゅういん}推定地（図②）、武蔵国分寺跡寺院地南限域（図③）の 3 地点、10,243.42 m²が史跡に加わりました。大正 11 年 10 月 12 日の史跡指定後、10 回の追加指定を経て指定面積は合計 155,610.58 m²（府中市内 349.38 m²を含む）となりました。

①地点：東山道武蔵路

東山道は、古代日本の律令国家が 7 世紀後半から 8 世紀前半にかけて、国の支配体制を強化するために整備した都と各国の国府^{こくふ}を結ぶ幹線道路（七道）の一つです。武蔵路は信濃国から上野国^{じやうのくに}に向かう東山道が上野国新田郡から分岐して南下し、武蔵国府にいたる支路です。

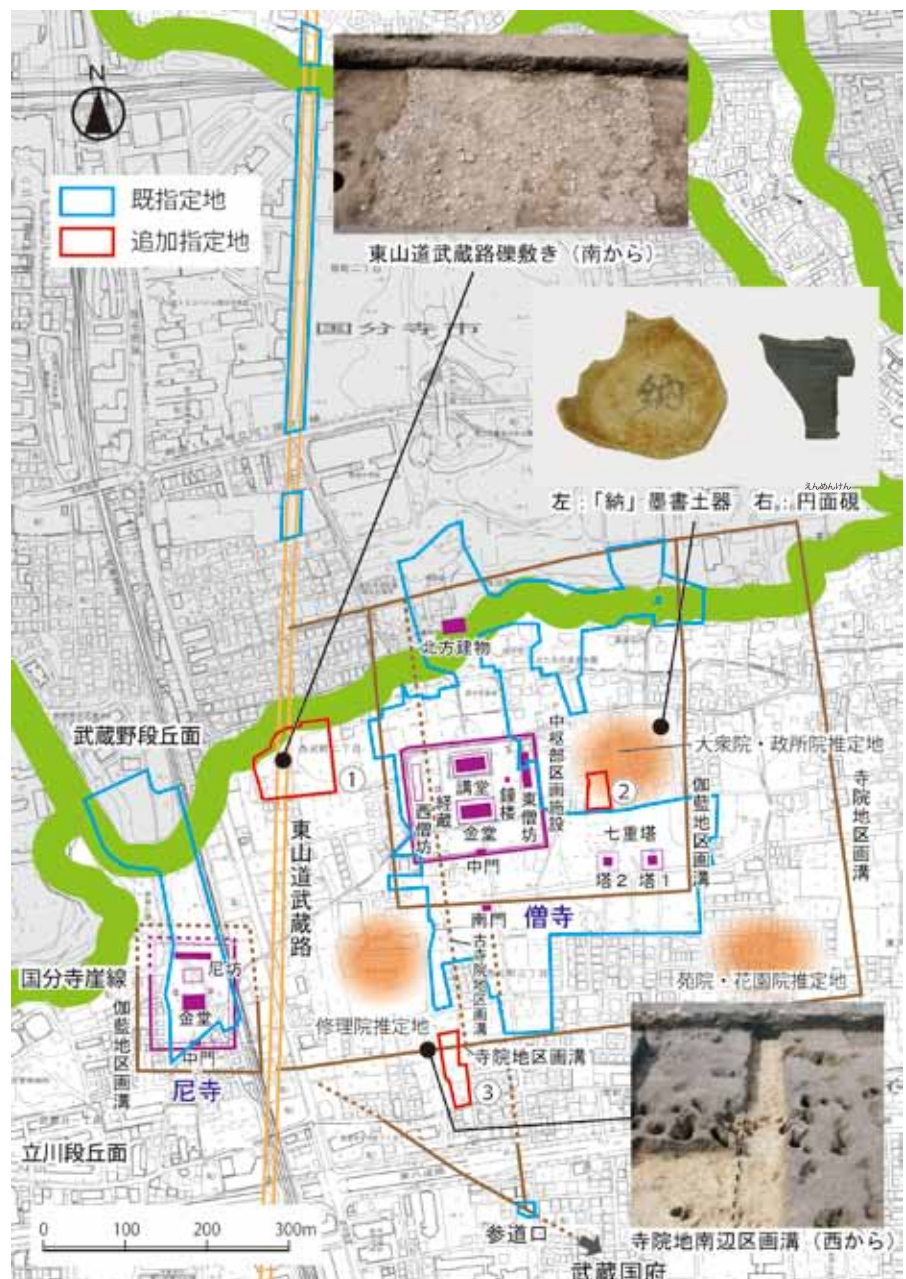
今回の追加指定地は国分寺崖線直下にあたり、発掘調査によって路面に礫敷きや版築^{はんちく}を思わせる幾重にも重なる硬質面が確認され、他では見られない特異な路面構造をなしています。武蔵野段丘面から立川段丘面へ地形が変化し、かつ湧水の影響を受けやすい国分寺崖線下における古代道路の施工状況を知ることができ、地形条件に合わせた土木技術が採用されていたことが明らかとなっています。

②地点：政所院・大衆院推定地

武蔵国分寺は天平 13 年（741）の聖武天皇が發布した国分寺建立の詔により全国 60 余りの国に設置された国分寺の一つです。②地点は、僧寺の金堂・講堂・塔などの主要建物が建ち並ぶ伽藍地の東側に位置しています。当該地周辺は、複数棟の大型の掘立柱建物が確認され、また、納屋^{なや}を示すと想定される「納」の墨書土器や硯^{すずり}が出土していることから、寺の事務や日常生活を支える管理運営の施設である政所院・大衆院に推定されています。

③地点：寺院地南限域

武蔵国分僧寺は、金堂・講堂などの主要建物がある中枢部と七重塔などを含む伽藍地、さらにその外側に付属施設を含む寺院地から構成されます。③地点は周辺の発掘調査により、寺院地を区画する南辺の溝が東西に横断することが予測され、東西約 720m、南北約 580m の広大な寺院地の南限域にあたります。寺院地南辺区画溝は、上面幅 0.8m～1.1m、底面幅 0.5～0.6m、深さ 0.4m を測り、逆台形状を呈する素掘りの溝です。



「こくぶんじジュニア歴史検定」実施報告

- ◆日 時：平成 29 年 11 月 4 日（土）
午前の部 10:15～11:00 午後の部 14:15～15:00
- ◆会 場：市立第四小学校ホールひだまり（午前の部）
ひかりプラザ 203 号室（午後の部）
- ◆対 象：市内在住の小学 6 年生（午前・午後とも各 50 名を募集）
- ◆参加料：無料
- ◆認定基準：正解した問題数に応じた理解度をゴールド（25 問以上）・シルバー（11 問から 24 問）・ブロンズ（10 問以下）の 3 段階として認定。



◆概要 要：国分寺市は太古の昔から豊かな自然環境のもと、市内には旧石器・縄文時代の遺跡を多く持ち、奈良時代には市名にもなっている武蔵国の国分寺が建立された場所です。「こくぶんじジュニア歴史検定」は、多数の文化財を有する地域の歴史と文化財について、子どもたちの理解を深めてもらうことを目的に、校外学習で史跡地周辺に訪れたことのある市内在住の小学 6 年生を対象として実施。試験問題は、『武蔵国分寺跡資料館・見学のしおり』と『見学ガイド 武蔵国分寺のはなし』から出題され、試験時間 45 分、全 30 問を四者択一形式で行いました。なお、成績優秀者 3 名には、教育長から賞状と図書カードが贈呈されました。

今年度の新たな事業として、先駆事例を参考に、「国分寺市教育 7 DAYS」^(注)の一環で検定を実施しました。受験者数は想定よりも少なく、今後は対象者の枠を広げることや実施時期の見直し、広報活動の工夫など検討していきます。

※(注)「国分寺市教育 7 DAYS」とは、教育について考えるきっかけとなることを目的に、毎年 11 月 2 週目の月曜日から 7 日間、市教育委員会、市立小・中学校が様々な取り組みを行っている活動です。



検定試験当日（市立第四小学校ホールひだまり）

「オリジナルのレプリカを作ろう」実施報告

平成 29 年 12 月 9 日（土）、国分寺市の文化財や歴史に触れるワークショップを開催しました。大人から子どもまで 20 名が参加し、槍先型尖頭器^{やりさき}、土偶^{せんとうき}、鎧瓦^{あぶみ}、文字瓦と鬼瓦の中から型を選び、小さなレプリカを作りました。完成したレプリカは裏に磁石を貼りつけ、マグネットとして活用できるようになっています。また、思い思いの色をアクリル絵の具でつけてもらい、参加者のお土産としました。

- ◆日 時：12 月 9 日（土）
①10:30～②11:30～③14:00～④15:00～
- ◆会 場：武蔵国分寺跡資料館 講座室



レプリカ作成の様子



参加者が作成したレプリカ作品（左から尖頭器、土偶、鬼瓦）

歴史講演会のお知らせ

平成 29 年度歴史講演会を下記の日程で開催します。講師に文化庁文化財部記念物課 近江俊秀調査官を招き、東山道武蔵路跡をテーマに、史跡と文化財の保存活用に関する講演を行います。詳細については市報及びチラシ等でお知らせいたします。

【日 時】平成 30 年 2 月 12 日 (月) 14:00～16:00 【会場】本多公民館 【参加費】無料

多摩郷土誌フェアのお知らせ

第 30 回多摩郷土誌フェアが開催されます。多摩地区 25 市町の郷土・歴史・文化財に関する書籍を展示販売しております。国分寺市も 39 件の書籍を販売いたします。この機会にぜひご来場ください。

【開催期間】平成 30 年 1 月 20 日 (土)、21 日 (日)

【時 間】午前 10 時～午後 5 時 (21 日は午後 3 時まで)

【会 場】立川市女性総合センターアイム 1 階ギャラリー (立川市曙町 2-36-2)

【問合せ先】第 30 回多摩郷土誌フェア事務局 (武蔵村山市立歴史民俗資料館) 電話 042-560-6620

文化財防火デーのお知らせ

1 月 26 日は文化財防火デーです。文化財防火デーは昭和 24 年 (1949) の法隆寺金堂炎上に伴う壁画の損傷事件を受けて、昭和 29 年 (1954) に制定されました。毎年各自治体では 1 月 26 日前後に、文化財防火運動と文化財愛護意識の高揚を目的として消防署や地域住民と協力・連携し文化財消防訓練を行っています。

国分寺市でも文化財防火デーの一環として国分寺薬師堂にて消防訓練を行います。

来館者数

2009 年 10 月 18 日～2017 年 11 月末日

来館者数累計 113,486 名

【9 月～11 月の学校見学】

〔学年〕、(人数)、中=中学生、高=高校生、大=大学生、院=大学院生

<市内>

第二小学校〔小6〕(145)、第五小学校〔小3〕(64)、第八小学校〔小6〕(69)

<市外>

国土交通大学校 (27)、創価高等学校〔高3〕(10)、創価大学 (27)

月	来館者数	開館日数
9	708	26
10	1,781	26
11	2,119	26
計	4,608	78

多くのご来館ありがとうございました

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】○JR国分寺駅下車/徒歩約 20 分 ○JR西国分寺駅下車/徒歩約 15 分

【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約 8 分

○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約 8 分

○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約 8 分

■開館時間

午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 45 分まで)

■休館日

毎週月曜日 (祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始 (12 月 29 日から 1 月 3 日まで)
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)
一般……………100 円 (年間パスポート 1,000 円)
中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒 (中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき [事前 (5 日前まで) に減免申請書の提出が必要です。]
- 身体障害者及びその介護者が入園するとき [発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。]
- その他教育長が特別の理由があると認めるとき [事前 (5 日前まで) に減免申請書の提出が必要です。]
※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード